



かごしまと 海外を つなぐもの



〜架け橋はどんどん太くなっています〜

鹿児島空港に初めて国外への直行便ができたのは昭和47年。鹿児島―香港線でした。

現在は4月28日から再開された香港線に加え、ソウル線、上海線が就航しています。

今までたくさんの方からのお客様をお迎えし、また鹿児島からもたくさんの方の旅行者やビジネスマンを送り出してきました。新幹線の開通、マリナーポートかごしまへの観光客船の寄港などにより、陸からも海からも、玄関口は広がり、そして鹿児島の国際色はさらに濃くなっています。

今回の特集では、交通網に加え、着実に太くなっている鹿児島と海外とのつながりについて紹介します。





海外と鹿児島をつなぐ

国際定期航空路線の状況

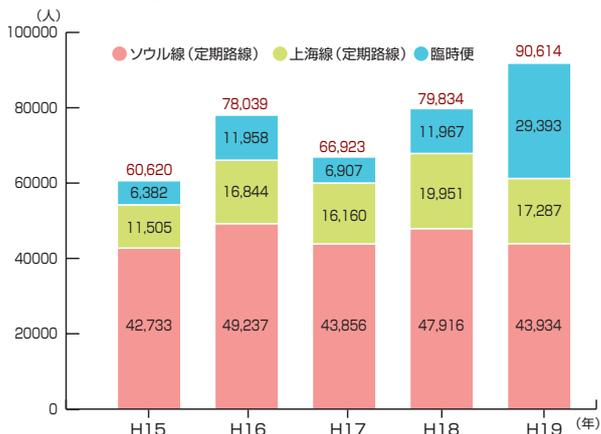
路線	運航曜日	ダイヤ
ソウル線 (大韓航空) H2.5.29開設	水・金・日	鹿児島 → ソウル (仁川空港) 12:30 → 14:05
		ソウル (仁川空港) → 鹿児島 11:30 → 9:55
上海線 (中国東方航空) H14.8.28開設	水・土	鹿児島 → 上海 (浦東空港) 13:30 → 14:10
		上海 (浦東空港) → 鹿児島 12:40 → 9:55
香港線 (香港エクスプレス航空) H20.4.28開設	月・火・金	鹿児島 → 香港 (香港国際空港) 13:50 → 15:55
		香港 (香港国際空港) → 鹿児島 12:50 → 8:45

※ダイヤは平成20年4月現在 (現地時間)



4月3日、台湾からのチャーター便が鹿児島空港に。チャーター便も大歓迎です!

国際線利用者数の推移



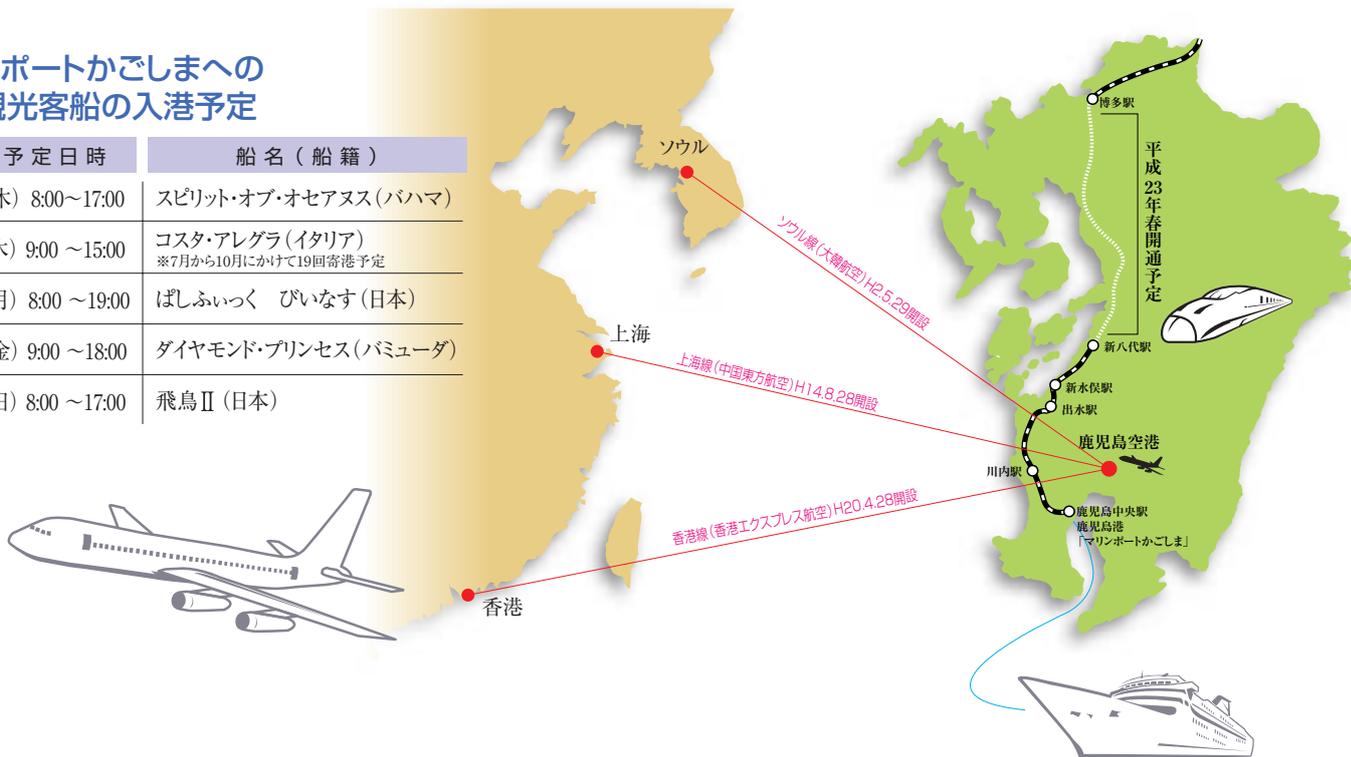
ジェニー・チョック香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部 首席代表



鹿児島と香港が国際線で結ばれたことで、お互いの距離がぐっと縮まっていくことでしょう。大変うれしく思います。
 鹿児島は空気がきれいで、美しいですね。桜島や砂蒸し風呂など、香港にないものがたくさんあります。香港からの観光客もきっと満足するでしょう。
 鹿児島からもぜひ香港にお越しください。今年は北京オリンピックもあることでし、香港で観光やショッピングを存分に楽しんだ後、北京へ足を伸ばすこともできますよ。

マリポートかごしまへの 主な観光客船の入港予定

入港予定日時	船名 (船籍)
5月 8日 (木) 8:00~17:00	スピリット・オブ・オセアナス (バハマ)
7月10日 (木) 9:00 ~15:00	コスタ・アレグラ (イタリア) ※7月から10月にかけて19回寄港予定
9月15日 (月) 8:00 ~19:00	ばしふいっく びいなす (日本)
10月3日 (金) 9:00 ~18:00	ダイヤモンド・プリンセス (バミューダ)
11月9日 (日) 8:00 ~17:00	飛鳥II (日本)





かごしま海外をひなぐまの 架け橋はどんどん太くなっていきます

鹿児島から海外へ



シニア海外ボランティア

(問い合わせ先) JICAデスク鹿児島099 (221) 6624
<http://www.jica.go.jp/>



市民を対象にした「日本文化デー」。習字コーナーでは初めて筆を持ち書いていました。

長年の教員経験を持つ井神哲次さんは、以前にスペインの日本人学校に勤務していた時のボランティア体験がきっかけで日本語教育に興味を持ち、JICA（独立行政法人国際協力機構）のシニア海外ボランティアとして2006年3月から2008年3月までの2年間、アルゼンチンのサルタ市の大学で日本語教育に携わった。

生徒は、10代から70代までの学生や社会人達。

「自分の指導で日本語の授業が楽しいと言ってくれたり、その成果を見たりするときは嬉しい。教えようとするあまり、自分のペースで進め学習者の顔に元気

がないことを感じたときは反省しました。自分が楽しくあれば学習者も同じ気持ちになることが多かったですね」と懐かしそうに語る。

日本文化を紹介するイベントも開催し、さらに親睦を深める機会になったという。

「日本の位置を知らないなど、彼らにとって日本はまだ遠い国であり、それは日本人にとつてのアルゼンチンも同じ。人と人との交流によって互いを知ることができたり、知ろうとするきっかけにもなったりします。アルゼンチンでは、家族や友達など人とのつながりをとても大切にするため、「豊かさ」とは何か、「便利さ」は良いことかなどを考えさせられました。今後、活動の場所は違っても今回の経験を活かしていきたいですね」と井神さんは、力強く笑顔で語った。

ボランティア活動を通じてできたつながりの架け橋は、今後ますます広がっていくことだろう。



「アルゼンチンでは鹿児島県人会の方々にも大変お世話になりました」と語る井神さん。



日本茶を世界へ

ブシェさんのレストラン「WABIサロン」のオープニング式典のようす。水出し緑茶を味わうフランスの人たち。



日本びいきで知られるドミニク・ブシェさんと下堂蘭さん。

「きれいな緑色の緑茶はフランス人にとつてめずらしいのでしょ
うね。おいしいとの評判ももたら
せていますが、体に良い成分が含
まれ、健康的なところがうけて
いるみたいです。日本食ブームも
後押ししていますね」と語るの
は株式会社下堂園の社長 下堂
蘭^{（しみろ）}さん。

下堂園では、ヨーロッパ・アメリ
カなど、世界に向けて緑茶の輸
出を行っている。昨年、フランスで
薩摩焼パリ伝統美展が開催され
ることに併せて、フランスへの輸
出を本格的にスタートした。
そのきっかけは昔から下堂園
のお茶を飲んでいたフランス在住



フランスで販売している緑茶。
左右の「いいしん」、「はやと」がブシェさんがブレンドした緑茶。

(問い合わせ先) (株)下堂園 099 (268) 7281
<http://www.shimo.co.jp/>

の女性であるという。その女性
から、フランスへ緑茶を輸出する
話を持ちかけられたときは、無
理ではないかと下堂蘭さんは考
えたそう。しかし試験的に輸出
することを決め、今では、パリの
有名なシエラ・ドミニク・ブシェさん
と協同で鹿児島のお茶をブレンド
した緑茶をブシェさんのレスト
ランで提供。評価も上々である
という。
ブームで終わらせないように、
質の良いかごしまのお茶を提供
していきたいと下堂蘭さんは語る。
緑茶の美しい視覚と味覚を
通じて、鹿児島を世界に発信し
ている。



お茶の時間。お茶うけは、おはぎと煮しめ。「スウェーデンでは煮しめは高級料理です」と話すヨナスさん。

(問い合わせ先) NPO法人からいも交流
0994 (45) 2718

からいも交流



「かごしまと海外をつなぐもの」架け橋はどんな存在になっていますか
海外から鹿児島へ

「ヨナス、故郷のスウェーデンでお箸を使うことはあるの?」「日本食を食べる時です」。

NPO法人が主催する「からいも交流」のホームステイでのある1日。

スウェーデン出身の留学生ヨナス・サンデルさんが滞在したのは出水市の薬丸満さん・和子さん夫妻の自宅。2週間を、薬丸さん夫婦とともに過ごす。

「普通の日本の生活を体験してほしいので、2人の生活のリズムは変えないんですよ。食事も普段通り。かえってその方が、喜んでくれますよ」と和子さん。

「ホームステイの子たちを受け



「ヨナス、スウェーデンのことをもっと教えてよ」

入れるのは、鹿児島に住む子どもたちに、海外の人にふれあう機会を増やしてあげたいから。ヨナスを、家族の一員として紹介するので、気楽に接することができるので、子どもたちも打ち解けて話をしていますよ。ヨナスもいろいろな発見があるでしょうが、それ以上に私たちも勉強させられます」と満さん。

日本の生活を体験することで、お互いの人柄を、文化を、国を知り、違いを発見する。その発見が、相手を尊重する気持ちのつながりをさらに強くすることだろう。



クラブ活動の様子をカメラに収める中国北京市からの視察団。



吹奏楽部の生徒の歓迎を受ける。

修学旅行は “KAGOSHIMA”へ どうぞ

(問い合わせ先) 県庁観光課
099 (286) 2997

高校の校長などの教育関係者の一団は、鹿児島市の鹿児島情報高等学校を訪れた。吹奏楽部を訪れ、練習風景を視察。真剣なまなざしの生徒たちの様子をしっかりとカメラに収めた。その後訪れた桜島でも、かごしまの雄大な自然に

県ではアジア地域をはじめ海外から多くの観光客に“KAGOSHIMA”を訪れていただくため、さまざまな誘客事業に取り組んでいる。
中国、韓国、シンガポールなどからの修学旅行団が、次々と訪れる中、今回、オリンピックを間近に控えた中国北京市から教育関係者の方々をお招きした。日本への修学旅行を検討している北京市の小中

「日本の科学技術や環境保護への取り組みについて学びたいと考えています。また、日本の学校のクラブ活動の様子もしっかり視察できて良かったです。指導方法など、とても参考になりました。街の中にゴミがありません。落ちておらず、きれいな街並みですね。きっと生徒たちのよい刺激となることでしょう。今後の修学旅行先としてぜひ検討していきたいですね」と小学校の副校長の尹軍さんは語った。
桜島や温泉、特色ある島々など、他の地域にはない“KAGOSHIMA”の魅力を多くの修学旅行生たちに味わってもらいたい。
“YOKOSO! KAGOSHIMA!!”



湯之平展望所を訪れ、雄大な桜島を前に記念撮影。